

第5 被害想定結果（奈良県全体）

(1) 各地震の震度別面積比率（全県＝100%）
各地震毎に、県内の震度別面積比率を算出。

		想定地震						
		震度						
		4以下	5弱	5強	6弱	6強	7	
内陸型	① 奈良盆地東縁断層帯	0.0%	0.0%	13.3%	39.8%	42.9%	3.9%	
	② 中央構造線断層帯	0.0%	0.0%	0.6%	60.2%	36.6%	2.6%	
	③ 生駒断層帯	0.0%	0.0%	28.7%	50.4%	20.0%	0.8%	
	④ 木津川断層帯	0.0%	16.7%	36.3%	30.4%	16.7%	0.0%	
	⑤ あやめ池撓曲－松尾川断層	0.0%	13.9%	41.9%	28.4%	15.4%	0.5%	
海溝型	⑥ 大和川断層帯	0.0%	5.0%	41.9%	32.4%	20.0%	0.7%	
	⑦ 千股断層	0.0%	0.0%	12.2%	54.4%	33.3%	0.0%	
	⑧ 名張断層	0.0%	1.8%	30.9%	39.4%	27.9%	0.0%	
	① 東南海・南海地震同時発生	0.0%	57.2%	41.0%	1.8%	0.0%	0.0%	
	② 東南海地震	5.4%	63.0%	30.0%	1.6%	0.0%	0.0%	
海溝型	③ 南海地震	25.3%	60.8%	13.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
	④ 東海・東南海地震同時発生	5.4%	63.0%	30.1%	1.6%	0.0%	0.0%	
	⑤ 東海・東南海・南海地震同時発生	0.0%	57.2%	41.0%	1.8%	0.0%	0.0%	

(2) 人的被害（平成12年国勢調査人口1,442,795人）
多くの人が家にいる朝5時のケースで、揺れ・液状化・斜面崩壊・火災による死者、負傷者数を算出。

地震区分	地震名	死者					内) 重傷者								
		合計	揺れ	斜面崩壊	火災	合計	揺れ・液状化	斜面崩壊	火災	合計	揺れ・液状化	斜面崩壊			
内陸型	① 奈良盆地東縁断層帯	5,153	4,498	197	458	19,045	17,174	126	1,745	1,566	1,536	30	6,253	6,157	96
	② 中央構造線断層帯	4,319	3,686	205	428	18,817	17,058	128	1,631	1,250	1,221	29	5,011	4,912	99
	③ 生駒断層帯	4,257	3,646	175	436	17,578	15,806	109	1,663	1,320	1,296	24	5,260	5,175	85
	④ 木津川断層帯	1,800	1,360	135	305	15,864	14,620	82	1,162	504	487	17	2,035	1,970	65
	⑤ あやめ池撓曲－松尾山断層	3,675	3,126	144	405	16,579	14,939	91	1,549	1,156	1,131	25	4,603	4,537	66
海溝型	⑥ 大和川断層帯	3,996	3,419	157	420	16,935	15,239	96	1,600	1,239	1,217	22	4,955	4,881	74
	⑦ 千股断層	2,673	2,144	191	338	14,296	12,894	117	1,285	681	656	25	2,708	2,616	92
	⑧ 名張断層	2,643	2,127	185	331	14,261	12,875	117	1,269	674	645	29	2,696	2,608	88
	① 東南海・南海地震同時発生	4	0	4	0	414	411	3	0	13	12	1	58	56	2
	② 東南海地震	3	0	3	0	163	161	2	0	3	3	0	25	23	2
海溝型	③ 南海地震	2	0	2	0	232	230	2	0	5	5	0	35	33	2
	④ 東海・東南海地震同時発生	3	0	3	0	163	161	2	0	3	3	0	25	23	2
	⑤ 東海・東南海・南海地震同時発生	4	0	4	0	414	411	3	0	13	12	1	58	56	2

(3) 建物被害 (奈良県の全住家 457, 200 棟)

住家を対象に、揺れ・液状化・斜面崩壊による全壊、半壊棟数を算出。

地震区分	地震名	全域				半壊				全・半壊			
		合計	揺れ	液状化	斜面崩壊	合計	揺れ	液状化	斜面崩壊	合計	揺れ	液状化	斜面崩壊
内陸型	①奈良盆地東縁断層帯	119,535	114,209	3,206	2,120	83,442	77,547	2,947	2,948	202,977	191,756	6,153	5,068
	②中央構造線断層帯	98,086	93,041	2,871	2,174	84,973	79,329	2,610	3,034	183,059	172,370	5,481	5,208
	③生駒断層帯	98,123	93,543	2,723	1,857	87,691	82,741	2,497	2,453	185,814	176,284	5,220	4,310
	④木津川断層帯	38,714	35,730	1,527	1,457	74,334	71,011	1,378	1,945	113,048	106,741	2,905	3,402
	⑤あやめ池撓曲—松尾山断層	84,874	80,912	2,452	1,510	84,692	80,397	2,260	2,035	169,566	161,309	4,712	3,545
	⑥大和川断層帯	92,234	87,827	2,748	1,659	85,660	80,937	2,525	2,198	177,894	168,764	5,273	3,857
	⑦千股断層	56,676	52,687	1,957	2,032	76,800	72,207	1,767	2,826	133,476	124,894	3,724	4,858
	⑧名張断層	56,167	52,338	1,874	1,955	77,915	73,628	1,681	2,606	134,082	125,966	3,555	4,561
	①東南海・南海地震同時発生	1,253	1	1,172	80	1,184	34	1,036	114	2,437	35	2,208	194
	②東南海地震	520	0	465	55	498	12	406	80	1,018	12	871	135
海溝型	③南海地震	713	0	673	40	648	1	591	56	1,361	1	1,264	96
	④東海・東南海地震同時発生	520	0	465	55	498	12	406	80	1,018	12	871	135
	⑤東海・東南海・南海地震同時発生	1,253	1	1,172	80	1,184	34	1,036	114	2,437	35	2,208	194

(4) 火災被害 (奈良県の全住家 457, 200 棟)

建物火災について、危険性が最も高いとされる冬の夕方6時及び冬の朝5時発生とし、風速は10m/sのケースを想定。

地震区分	地震名	出火・延焼 (冬の夕方6時)				出火・延焼 (冬の朝5時)			
		炎上出火件数	残火災件数	焼失棟数	焼失棟数	炎上出火件数	残火災件数	焼失棟数	焼失棟数
内陸型	①奈良盆地東縁断層帯	1,199	912	16,284	3,310	157	106	106	3,310
	②中央構造線断層帯	995	760	15,207	3,002	130	81	81	3,002
	③生駒断層帯	971	730	15,528	3,308	128	82	82	3,308
	④木津川断層帯	447	323	10,868	1,573	57	25	25	1,573
	⑤あやめ池撓曲—松尾山断層	853	633	14,468	3,073	112	72	72	3,073
	⑥大和川断層帯	920	686	14,942	3,079	122	78	78	3,079
	⑦千股断層	571	454	12,013	2,094	73	38	38	2,094
	⑧名張断層	568	445	11,835	2,421	77	46	46	2,421
	①東南海・南海地震同時発生	0	0	0	0	0	0	0	0
	②東南海地震	0	0	0	0	0	0	0	0
海溝型	③南海地震	0	0	0	0	0	0	0	0
	④東海・東南海地震同時発生	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤東海・東南海・南海地震同時発生	0	0	0	0	0	0	0	0

注)

・炎上出火件数は、住民による初期消火により消火できなかった件数。

・残火災件数は、消防でも消火できなかった件数。

・焼失棟数は風速で大きく異なり、実際には着火時の風速に大きく影響を受けると考えられるため、本推計では風速が強い条件下で、安全側に立った想定を行っている。

(参考)

奈良地方気象台における気象観測年統計値 (単位: m/s)

	最大風速	平均風速
平成13年	7.3	1.4
平成14年	8.9	1.4
平成15年	8.5	1.4

(5) 地震別、震度ランク別文化財（建造物）の箇所数
文化財（建造物）の所在地における想定震度を算定した上で、各地震別、震度ランク別の合計数を集計。

地震区分	国指定文化財（国宝・重要文化財）										県指定文化財										合計
	震度5弱以下	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計	震度5弱以下	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計	震度5弱以下	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計			
内陸型	①奈良盆地東縁断層帯	0	1	3	232	27	263	0	1	7	81	17	106	0	2	10	313	44	369		
	②中央構造線断層帯	0	0	42	209	12	263	0	0	20	79	7	106	0	0	62	288	19	369		
	③生駒断層帯	0	1	54	206	2	263	0	2	28	76	0	106	0	3	82	282	2	369		
	④木津川断層帯	0	10	135	118	0	263	0	9	45	52	0	106	0	19	180	170	0	369		
	⑤あやめ池断層帯	0	2	61	200	0	263	0	5	34	67	0	106	0	7	95	267	0	369		
	⑥大和川断層帯	0	2	49	212	0	263	0	4	31	71	0	106	0	6	80	283	0	369		
	⑦千股断層	0	1	179	83	0	263	0	0	61	45	0	106	0	1	240	128	0	369		
海溝型	⑧名張断層	1	0	176	86	0	263	0	2	65	39	0	106	1	2	241	125	0	369		
	①東南海・南海地震同時発生	69	194	0	0	0	263	32	74	0	0	0	106	101	268	0	0	0	369		
	②東南海地震	163	100	0	0	0	263	60	46	0	0	0	106	223	146	0	0	0	369		
	③南海地震	220	43	0	0	0	263	78	28	0	0	0	106	298	71	0	0	0	369		
	④東海・東南海地震同時発生	163	100	0	0	0	263	60	46	0	0	0	106	223	146	0	0	0	369		
⑤東海・東南海・南海地震同時発生	69	194	0	0	0	263	32	74	0	0	0	106	101	268	0	0	0	369			

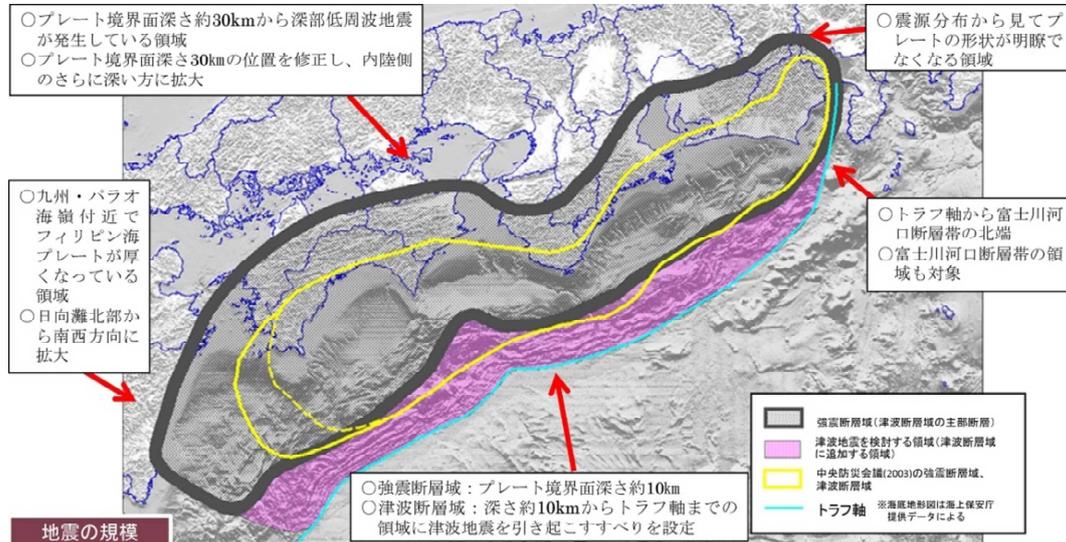
(6) その他の被害
ライフライン被害、医療、避難者数、避難者数、瓦礫発生量を算出。

地震区分	水道被害 断水世帯		下水道管 路被害 (被害延 km)	電力被害 地震発生直後 の停電世帯数	都市ガス 被害 地震発生直後 の供給支障 世帯数	電話・通信 被害 地震発生直後 の通信支障 世帯数	避難者数			医療 医療需給 不足数	飲食・必要物資（1日あたり）			瓦礫発生量 (単位：t)	
	直後	一週間後					直後	一週間後	一か月後		食料 (食)	飲料水 (リットル)	生活必需品 (組)		
内陸型	①奈良盆地東縁断層帯	433,526	418,360	429.1	486,436	256,903	67,339	353,044	435,074	197,295	615	1,270,963	1,270,963	423,654	16,997,659
	②中央構造線断層帯	385,855	363,021	335.2	485,013	256,903	65,613	322,153	393,781	174,837	818	1,159,751	1,159,751	386,584	14,746,271
	③生駒断層帯	437,286	413,406	348.6	480,844	256,903	63,267	346,871	431,210	177,452	900	1,248,737	1,248,737	416,243	14,975,686
	④木津川断層帯	213,266	177,486	142.8	409,270	251,976	37,392	213,087	251,817	98,897	38	767,112	767,112	255,708	8,259,706
	⑤あやめ池撓曲一松尾山断層	399,232	378,695	310.6	467,562	256,903	59,731	318,032	398,139	160,519	762	1,144,918	1,144,918	381,638	13,441,226
	⑥大和川断層帯	410,494	393,681	337.8	478,002	256,903	61,989	328,564	411,899	169,400	817	1,182,833	1,182,833	394,275	14,248,727
	⑦千股断層	238,538	215,664	180.5	340,863	213,686	34,573	213,786	253,245	121,643	456	769,629	769,629	256,539	9,849,908
海溝型	⑧名張断層	239,409	219,351	184.5	363,056	230,922	35,306	215,244	257,094	122,257	432	774,883	774,883	258,290	9,874,533
	①東南海・南海地震同時発生	49,995	24,997	4.3	31,325	6,938	0	4,490	5,484	—	0	16,164	16,164	5,391	194,055
	②東南海地震	908	455	1.7	13,000	2,721	0	1,944	2,375	—	0	6,998	6,998	2,332	78,714
	③南海地震	11,981	5,993	2.4	17,825	4,096	0	2,539	3,102	—	0	9,141	9,141	3,044	109,103
	④東海・東南海地震同時発生	919	459	1.7	13,000	2,721	0	1,944	2,375	—	0	6,998	6,998	2,332	78,714
⑤東海・東南海・南海地震同時発生	50,108	25,051	4.3	31,325	6,938	0	4,490	5,484	—	0	16,164	16,164	5,391	194,055	

南海トラフ巨大地震の被害想定について

内閣府中央防災会議では、「南海トラフの巨大地震モデル検討会」を設置し、過去に南海トラフのプレート境界で発生した地震に係る科学的知見に基づく各種調査について防災の観点から幅広く整理・分析し、想定すべき最大クラスの地震について検討を行っている。

以下に当検討会において検討された想定震源域を示す。



南海トラフ巨大地震の想定震源域モデル

(「南海トラフの巨大地震による津波高・震度分布等」南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ H24. 8)

また、この想定震源域において、「南海トラフの巨大地震モデル検討会」では強震動生成域について、過去の地震時の強震動生成域と概ね同じ場所に位置する可能性が示唆されるが、その周辺で少し位置が変わる可能性や、やや深い場所にある可能性も考えられるため、4つのケースについて検討が行われている。このうち、もっとも奈良県に大きな揺れをもたらすのは、強震動生成域を、可能性がある範囲で最も陸域側に移動したケース（通称陸側ケース）の場合である。

陸側ケースの場合の震度予想及び被害数量を以下に示す。

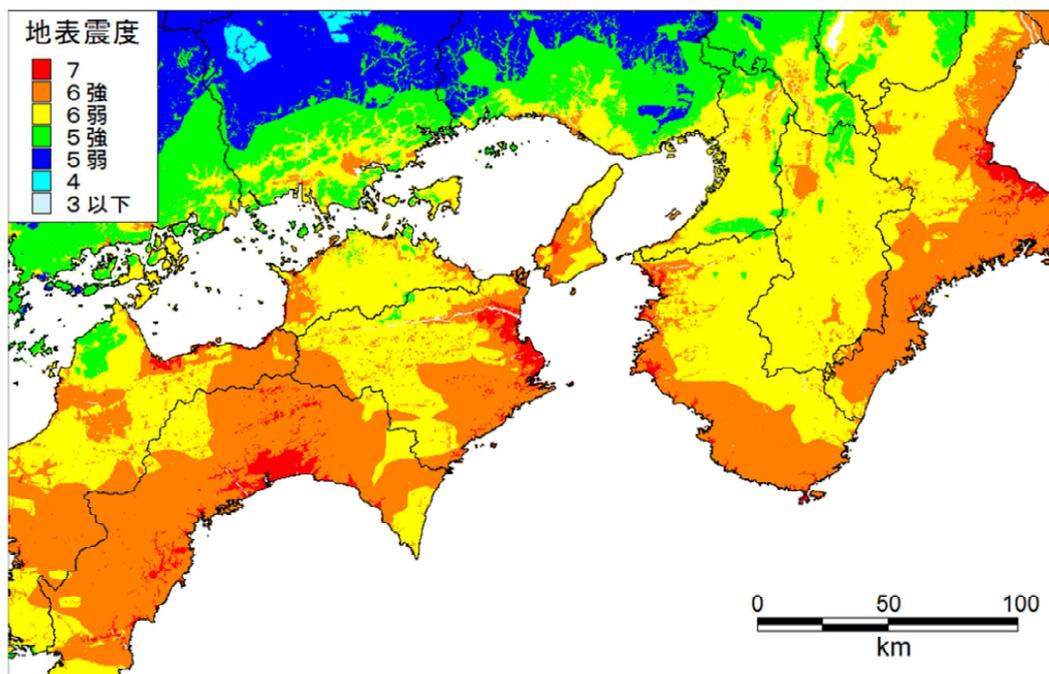


図 震度分布図（陸側ケース）

(「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ H24. 8)

表 被害数量（建物・人的被害）

建物被害	全壊棟数	約 47,000	棟	人的被害	要救助者	約 6,600	人	
	揺れ	約 26,000	棟		避難者数	1 日後	約 140,000	人
	液状化	約 5,000	棟			避難所	約 81,000	人
	急傾斜地崩壊	約 200	棟			避難所外	約 54,000	人
火災	約 16,000	棟	1 週間後			約 150,000	人	
			避難所			約 290,000	人	
			避難所外			約 150,000	人	
人的被害	死者数	約 1,700	人		避難者数	1 ヶ月後	約 230,000	人
	家屋倒壊	約 1,600	人			避難所	約 70,000	人
	急傾斜地崩壊	約 30	人			避難所外	約 160,000	人
	火災	約 50	人			帰宅困難者数	約 100,000	人
	負傷者数	約 18,000	人				～約 130,000	人
	家屋倒壊	約 18,000	人					
	急傾斜地崩壊	約 40	人					
	火災	約 100	人					
ブロック塀転倒等	約 40	人						

表 被害数量（ライフライン被害）

ライフライン被害	断水人口	被災直後	断水人口	約 1,300,000	人	固定電話不通回線数	被災直後	不通回線数	約 230,000	回線
			断水率	95	%		不通回線率	89	%	
		1 日後	断水人口	約 980,000	人		1 日後	不通回線数	約 45,000	回線
			断水率	70	%		不通回線率	17	%	
		1 週間後	断水人口	約 710,000	人		1 週間後	不通回線数	約 2,700	回線
			断水率	51	%		不通回線率	1	%	
		1 ヶ月後	断水人口	約 130,000	人		1 ヶ月後	不通回線数	-	回線
			断水率	10	%		不通回線率	-	%	
	下水道支障人口	被災直後	支障人口	約 930,000	人	携帯電話停波基地局率	被災直後	停波基地局率	4	%
			機能支障率	89	%		1 日後	停波基地局率	4	%
		1 日後	支障人口	約 54,000	人		1 週間後	停波基地局率	2	%
			機能支障率	5	%		1 ヶ月後	停波基地局率	1	%
		1 週間後	支障人口	約 27,000	人	都市ガス供給停止戸数	被災直後	供給停止戸数	約 38,000	戸
			機能支障率	3	%		供給停止率	23	%	
		1 ヶ月後	支障人口	-	人		1 日後	供給停止戸数	約 36,000	戸
			機能支障率	-	%		供給停止率	22	%	
	停電軒数	被災直後	停電軒数	約 820,000	軒	道路施設被害箇所数	約 920	箇所		
			停電率	89	%		鉄道施設被害箇所数	約 590	箇所	
		1 日後	停電軒数	約 130,000	軒					
			停電率	14	%					
4 日後		停電軒数	約 21,000	軒						
		停電率	2	%						
1 週間後		停電軒数	約 5,200	軒						
		停電率	1	%						

（「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ H24.8）
（死者数、負傷者数、要救助者数は冬・深夜の場合、その他は冬・夕方・風速 8m/s の場合の数量）

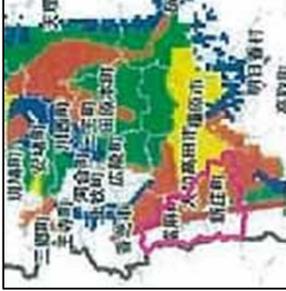
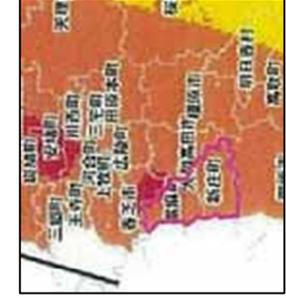
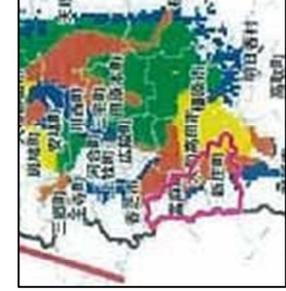
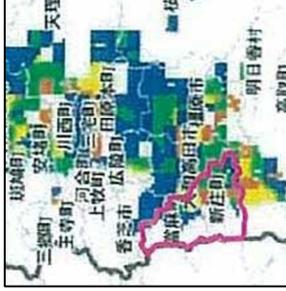
3. 葛城市の被害想定結果（第2次奈良県地震被害想定調査 - 平成16年）

1) 震度及び液状化危険度の分布

	地震動							液状化				
	震度別面積比率 (%) <合計が100%>							PL値別面積比率 (%) <合計が100%>				
	震度4 以下	5弱	5強	6弱	6強	7	PL値 =0	0超 5以下	5超10 以下	10超 15以下	15超	
内 陸 型	奈良盆地東縁断層帯	0	0	0	0	100	0	47.5	9.3	0	9.4	33.8
	中央構造線断層帯	0	0	0	0	53.4	46.6	47.5	0	9.3	5.8	37.4
	生駒断層帯	0	0	0	0	88.9	11.1	47.5	9.3	0	9.4	33.8
	木津川断層帯	0	0	0	99.6	0.4	0	56.7	27.3	16	0	0
	あやめ池撓曲一松尾山断層	0	0	0	0	100	0	47.5	9.3	3.5	23.1	16.6
	大和川断層帯	0	0	0	0	100	0	47.5	9.3	2.5	11.8	28.9
	千股断層	0	0	0	1.5	98.5	0	47.5	9.3	0	23.1	20.1
	名張断層	0	0	0	40.2	59.8	0	47.5	9.3	7.2	32.7	3.3
	東南海・南海地震同時発生	0	19.6	80.4	0	0	0	49	17.8	17.5	7.7	8
	東南海地震	0	86.2	13.8	0	0	0	57.7	36	5.9	0.4	0
海 溝 型	南海地震	0	19.6	80.4	0	0	0	53.4	25.1	10.7	6.8	4
	東海・東南海地震同時発生	0	86.2	13.8	0	0	0	57.7	36	5.9	0.4	0
	東海・東南海・南海地震同時発生	0	19.6	80.4	0	0	0	49	17.8	17.5	7.7	8

(注)

- ・「震度別面積比率 (%)」とは、各地震が発生した場合に、「各区分の震度の地震動」が想定される「区域の面積比率が全市の何%」なのかを示している。
- ・「PL値」とは、地震動、地盤特性、地下水位等から求められる液状化のしやすさを表す指標。PL値が15を超えると危険度が高いと想定される。

地震名	震度分布図	凡例	液状化危険度分布図	凡例
奈良盆地東縁断層帯				
中央構造線断層帯				
生駒断層帯				
東南海・南海地震同時発生				

2) 地震被害集計

【建物被害】

地震名	区分	全壊	半壊	全壊+半壊棟数
奈良盆地東縁断層帯		4,081	3,250	7,331
中央構造線断層帯		5,879	2,749	8,628
生駒断層帯		4,608	3,157	7,765
木津川断層帯		365	2,007	2,372
あやめ池撓曲一松尾山断層		3,138	3,468	6,606
大和川断層帯		3,814	3,348	7,162
千股断層		3,363	3,384	6,747
名張断層		2,635	3,460	6,095
東南海・南海地震同時発生		117	108	225
東南海地震		5	4	9
南海地震		74	68	142
東海・東南海地震同時発生		5	4	9
東海・東南海・南海地震同時発生		117	108	225

【火災被害】

地震名	区分	焼失棟数
奈良盆地東縁断層帯		607
中央構造線断層帯		648
生駒断層帯		640
木津川断層帯		229
あやめ池撓曲一松尾山断層		609
大和川断層帯		637
千股断層		601
名張断層		581
東南海・南海地震同時発生		0
東南海地震		0
南海地震		0
東海・東南海地震同時発生		0
東海・東南海・南海地震同時発生		0

【人的被害】

地震名	区分	死者	負傷者	死者+負傷者数
奈良盆地東縁断層帯		171	453	624
中央構造線断層帯		248	461	709
生駒断層帯		195	475	670
木津川断層帯		20	285	305
あやめ池撓曲一松尾山断層		136	407	543
大和川断層帯		162	444	606
千股断層		143	421	564
名張断層		119	445	564
東南海・南海地震同時発生		0	36	36
東南海地震		0	1	1
南海地震		0	22	22
東海・東南海地震同時発生		0	1	1
東海・東南海・南海地震同時発生		0	36	36

(注)

- ・「建物被害」は、「地震動(揺れ)」「液状化」「斜面崩壊」を要因とする「建物の全・半壊」を想定している。
- ・「地震動(揺れ)」による「建物の全・半壊」の棟数については、「震度分布」と「構造別・建築年次別・全建物データ」を基に、「震度と全・半壊率との関係(過去の地震被害事例に基づく)」を踏まえつつ推計している。
- ・「液状化」による「建物の全・半壊」の棟数については、「PL値分布」に基づく「液状化のランク」と「構造別・建築年次別・全建物データ」を基に、「液状化(が想定される)面積率」と「全・半壊率」を想定し、推計している。
- ・「斜面崩壊」による「建物の全・半壊」の棟数については、「震度分布」と「急傾斜地崩壊危険箇所データ(保全対象戸数5戸以上の箇所)」を基に、「震度別危険度ランク(「東南海、南海地震等に関する専門調査会(中央防災会議)」で設定)」「崩壊確率(中央防災会議で設定)」「震度別全・半壊確率(中央防災会議で想定)」及び「対策工事着手率」を踏まえ、推計している。
- ・「火災被害」は、「火災による建物の焼失」を想定している。
- ・「焼失棟数」は、「建物(木造)データ」を基に、「揺れによる全壊率」と「出火要因(一般火気器具、電熱器具、電気機器・配線)別出火率」より「出火件数」を推計し、これに「初期消火率(静岡県を参考に、住民による初期消火率50%を想定)」を踏まえて「炎上出火件数」を、さらに「消防力の運用(出火後、消防車が現場に到着するまでの平均時間を19分と想定し、その時間内に燃え広がる広さを求め、各市町村が所有する消防車台数と消防車1台当たりの消火能力から消火の可否を判定)」を踏まえて「残出火数」を推計し、その「上記対応でも消火できなかつた出火点の件数」を基本に、「残出火点の存するメッシュの不燃領域率(非木造家屋面積率)」と「不燃領域率と最大焼失率との関係(震災実態に基づく)」から、「焼失棟数」を推計している。
- ・「人的被害」は、主な発生要因を「建物被害」「斜面崩壊」「火災」として、地震発生時刻における建物内の滞留状況に考慮し、推計している。

3) 上下水道被害

地震名	区分	水道・断水 世帯数	下水道被害 (Km)
内陸型	奈良盆地東縁断層帯	10,382	21.0
	中央構造線断層帯	10,382	30.4
	生駒断層帯	10,382	23.8
	木津川断層帯	1,387	1.9
	あやめ池撓曲一松尾山断層	10,382	16.1
	大和川断層帯	10,382	19.6
	千股断層	10,380	17.2
	名張断層	9,231	13.5
	東南海・南海地震同時発生	1,965	0.0
	東南海地震	0	0.0
海溝型	南海地震	602	0.0
	東海・東南海地震同時発生	0	0.0
	東海・東南海・南海地震同時発生	1,965	0.6
	【参考】世帯数 (2000年国調)	【参考】下水道 延長 (Km)	
	10,382	177.7	

(注)

- 水道被害の「震災直後の断水世帯数 (内陸型)」は、「世帯数」と「水道供給支障率 (震災事例データに基づく)」により、推計している。
- 「震災直後の断水世帯数 (海溝型)」は、「配水管被害率 (震災事例データ等に基づく)」と「配水管被害率と水道供給支障率との関係 (震災事例データ等に基づく)」及び「世帯数」により、推計している。
- 「下水道被害 (延長)」については、「建物全壊率と下水道管路の被災延長比率の関係 (震災事例データに基づく)」と「下水道延長」により、推計している。

4) 避難者数

地震名	区分	避難人口 (避難所) 直後	避難人口 (避難所) 1週間後
内陸型	奈良盆地東縁断層帯	9,513	11,031
	中央構造線断層帯	10,163	11,100
	生駒断層帯	9,692	11,011
	木津川断層帯	2,790	3,094
	あやめ池撓曲一松尾山断層	9,168	10,732
	大和川断層帯	9,415	11,007
	千股断層	9,248	10,622
	名張断層	8,553	9,794
	東南海・南海地震同時発生	359	433
	東南海地震	17	21
海溝型	南海地震	227	274
	東海・東南海地震同時発生	17	21
	東海・東南海・南海地震同時発生	359	433
	【参考】人口 (2000年国調)	【参考】人口 (2000年国調)	
	34,950	34,950	

(注)

- 「避難人口」は、「建物被害」と「ライフライン被害 (断水)」を起因とする (避難所への) 避難者数を、静岡県のアナケート調査をもとに推計している。
- 「建物被害」による「避難人口 (直後)」は、「全・半壊家屋数」と「人口」を基本としつつ、「自宅建物が全壊した場合の避難率 (持ち家は61%)」と「自宅建物が半壊した場合の避難率 (持ち家は35%)」より推計している。
- 「断水被害」による「避難人口 (直後)」は、「上記の建物被害がない人口」を基本に、「断水率」と「断水時避難率 (持ち家は60%)」より推計している。
- また、「避難人口 (1週間後)」は「居住支障率 (97%)」により推計している。

5) 飲食・必要物資

地震名	区分	食糧 (食)	飲料水 (リットル)	生活必需品 (毛布・肌着)
奈良盆地東縁断層帯		34,247	34,247	11,415
中央構造線断層帯		36,587	36,587	12,195
生駒断層帯		34,891	34,891	11,630
木津川断層帯		10,045	10,045	3,349
あやめ池撓曲一松尾山断層		33,005	33,005	11,002
大和川断層帯		33,894	33,894	11,298
千股断層		33,293	33,293	11,097
名張断層		30,791	30,791	10,264
東南海・南海地震同時発生		1,293	1,293	431
東南海地震		61	61	20
南海地震		817	817	273
東海・東南海地震同時発生		61	61	20
東海・東南海・南海地震同時発生		1,293	1,293	431
		【参考】人口 (2000年国調)	【参考】人口 (2000年国調)	【参考】人口 (2000年国調)
		34,950	34,950	34,950

(注)

- ・「食糧必要量」は、阪神・淡路大震災の事例に基づき、「避難所生活者」の1.2倍を対象者として、1日3食を原単位と考える。
- ・「給水必要量」は、「避難所生活者」の1.2倍を対象者として、1日3リットルを原単位と考える。
- ・「生活必需品の必要量」は、「避難所生活者」1人当たり1セットと想定している。

4. 水防警報指定河川

知事管理区間

河川名	左右岸	関係土木 事務所	関係水防 管理団体名	重要水防箇所		種別	特に重要な水防箇所		種別	記事
				位置	延長(m)		位置	延長(m)		
葛城川	左	高田	御所市・葛城市・大和高田市	自 御所市御所 至 葛城市笛堂	4, 200	家屋連たん	自 葛城市笛堂 至 大和高田市奥田	500	堤防高	
	左	高田	大和高田市・広陵町	自 大和高田市奥田 至 曾我川合流点	10, 100	漏水 家屋連たん				
	右	高田	御所市・葛城市・大和高田市	自 御所市蛇穴 至 大和高田市奥田	4, 400	堤防高 家屋連たん	自 大和高田市奥田 至 大和高田市奥田	300	堤防高	
	右	高田	大和高田市	自 大和高田市奥田 至 大和高田市大字勝目	1, 400	堤防高 漏水 家屋連たん				
	右	高田	大和高田市	自 大和高田市大字勝目 至 大和高田市大字今里川合方	1, 000	堤防高・漏水 ・家屋連たん ・法崩れ・ すべり				
	右	高田 中和	大和高田市・広陵町・檀原市	自 大和高田市大字今里川合方 至 曾我川合流点	7, 700	堤防高 漏水 家屋連たん				

出典：平成 29 年度奈良県水防計画

5. 水防警報指定河川以外の河川

知事管理区間

河川名	左右岸	関係土木 事務所	関係水防 管理団体名	重要水防箇所		種別	特に重要な水防箇所		種別	記事
				位置	延長(m)		位置	延長(m)		
葛下川	左	高田	葛城市・大和高田市	自 葛城市南今市 至 大和高田市野口	2, 750	家屋連たん 背後地				
	右	高田	葛城市・大和高田市	自 葛城市南今市 至 大和高田市野口	2, 750	家屋連たん 背後地				
小柳川	左	高田	葛城市・大和高田市	自 葛城市延田 至 高田川合流点	1, 370	家屋連たん				
	右	高田	葛城市・大和高田市	自 葛城市西室 至 高田川合流点	1, 370	家屋連たん				

河川名	左右岸	関係土木 事務所	関係水防 管理団体名	重要水防箇所 位置	種別 延長(m)	種別	特に重要な水防箇所		記事
							位置	延長(m)	
甘田川	左	高田	葛城市・大和高田市	自葛城市新町 至大和高田市栄町	3,140	家屋連たん			
	右	高田	葛城市・大和高田市	自葛城市新町 至大和高田市三倉堂	3,140	家屋連たん			
住吉川	左	高田	葛城市・大和高田市	自大和高田市新村 至葛城川合流点	4,830	堤防高・漏水 ・水衝・洗掘 ・家屋連たん			
	右	高田	葛城市・大和高田市・樺 原市	自大和高田市新村 至葛城川合流点	4,830	堤防高・漏水 ・水衝・洗掘 ・家屋連たん			
太田川	左	高田	大和高田市・葛城市	自葛城市延田 至大和高田市市場	900	家屋連たん	自大和高田市大中 至高田川合流点	280	堤防高
	右	高田	大和高田市・葛城市	自葛城市延田 至葛城市尺土	900	家屋連たん			
安位川	左	高田	葛城市	自葛城市脇田 至葛城市忍海	950	家屋連たん			
	右	高田	葛城市	自葛城市脇田 至葛城市忍海	950	家屋連たん			
鎮守川	右	高田	葛城市	自葛城市忍海 至葛城市葦	600	法崩れ すべり			
	左	高田	御所市・葛城市	自御所市東松本 至葛城川合流点	1,690	水衝・洗掘 ・家屋連たん ・背後地			
鎮守川	右	高田	御所市・葛城市	自御所市東松本 至葛城川合流点	1,690	水衝・洗掘 ・家屋連たん ・背後地			

出典：平成29年度奈良県水防計画

6. 雨量観測所（国土交通省）

河川名	観測所名	種別	所在地	所属	備考
葛下川	当麻	自記・テレ	葛城市長尾14	大和川河川事務所	白鳳中学校

出典：平成29年度奈良県水防計画

7. 気象観測所（奈良地方気象台）

水系	流域河川名	観測所名	所在地	観測種目				備考
				気温	雨量	積雪	日照	
大和川	柿本川	葛城	葛城市寺口		○			地域雨量観測所

出典：平成 29 年度奈良県水防計画

8. 井堰・樋門

井堰名	河川名	所在地（取水位置）		構造			管理責任者
		市町村名	町名	形式	H	W	
奥田井堰	葛城川	葛城市	新村	ゴム引布製起伏堰	2.0	8.0	奥田水利組合
新村井堰	葛城川	葛城市	新村	自動転倒ゲート	1.0	7.0	新村区
東室井堰	高田川	葛城市	東室	自動転倒ゲート	1.5	7.0	東室土地改良区
柿本井堰	高田川	葛城市	柿本	自動転倒ゲート	1.5	8.0	柿本土地改良区
柿本井堰	高田川	葛城市	柿本	自動転倒ゲート	1.5	8.0	柿本土地改良区
北花内井堰	高田川	葛城市	葛木	手動式転倒ゲート	0.5	7.0	北花内土地改良区
北花内井堰	高田川	葛城市	北花内	手動式転倒ゲート	1.5	8.0	北花内土地改良区
葛木井堰	高田川	葛城市	葛木	巻上式ゲート	1.5	5.0	葛木区
南道穂井堰	高田川北流	葛城市	葛木	自動転倒ゲート	0.7	5.0	南道穂水利組合
金村井堰	高田川北流	葛城市	大屋	はめ板式固定堰	1.5	5.0	南道穂水利組合
堂ノ前井堰	安位川	葛城市	忍海	自動転倒ゲート	2.0	11.6	忍海土地改良区
立川井堰	葛下川	葛城市	南今市	可動堰	1.0	4.0	南今市水利組合
柿本井堰	葛下川	葛城市	八川	可動堰	1.5	4.0	八川水利組合
福田井堰	葛下川	葛城市	尺土	自動転倒ゲート	0.55	4.0	尺土水利組合
高内井堰	岩谷川	葛城市	長尾	自動転倒ゲート	0.65	3.7	長尾水利組合
長尾井堰	岩谷川	葛城市	尺土	自動転倒ゲート	0.5	4.5	尺土水利組合
前田井堰	熊谷川	葛城市	今在家	自動転倒ゲート	0.95	5.6	今在家水利組合
葛下井堰	葛下川支流	葛城市	南今市	可動堰	1.5	2.0	南今市水利組合

出典：平成 29 年度奈良県水防計画

9. 老朽ため池

ため池要整備箇所

ため池名	所在地	管理代表者	受益面積 (ha)	た			池		規		模	予				考
				堤高 (m)	堤長 (m)	貯水量 (m ³)	経過年 数 (年)	予 想 危 険 個 所	人 家 (戸)	公 共 建 物 (棟)		道 路 ・ 鉄 道 (km)	田 畑 (ha)	備		
忍海池	忍海	土地改良区	28	3.4	286	11,000	530	堤体・余水吐	120		市道	24		H1 県単 樋改修 防災重点ため池		
岡田池	中戸	土地改良区	5	5.4	64	3,800	280	堤体・余水吐			〃	5				
押上池	笛吹	脇田区長	7	9.0	79	9,300	90	堤体・余水吐	30	神社	県道・市道	7		防災重点ため池		
神山池	〃	笛吹南方水利	6	7.5	45	6,300	74	堤体	12		市道	6		防災重点ため池		
上新池	〃	笛吹北方水利	17	5.9	123	9,300	108	堤体・余水吐	16		〃	7		防災重点ため池		
奥池	平岡	土地改良区	10	7.5	34	7,600	230	堤体			〃	6		H8 県単ため池改修にて土砂 吐改修		
西室池	西室	土地改良区	18	4.0	420	21,600	230	〃	5		市道・近鉄	3				
ゴンダ池	西辻	個人所有	10	2.0	103	2,000	230	堤体・取水	3		市道	1				
平塚池	新村	区長	17	2.8	212	15,500	不明	余水吐・取水口	18		〃	5				
ニゴリ池	加守	土地改良区	7	4.5	40	1,100	300	余水吐・取水口			〃	8				
野田谷池	兵家	区長	5	8.0	35	5,300	300	堤			市道			H22～27年度 県営ため池により改修		
中戸新池	中戸	土地改良区	60	12.3	135	120,800	135	堤体		公民館	県道・市道			H7 国営防災で改修 防災重点ため池		
瓦堂池	當麻	水利組合	25	14.2	98	100,000	300	〃			市道			H14 国営防災で改修 防災重点ため池		
新在家大池	新在家	水利組合	42	15.3	180	112,000	不明	〃			市道			H18 国営防災で改修 防災重点ため池		
善海池	葛木	区長	10	3.2	162	2,900	280	〃			市道			防災重点ため池		
加守北池	加守	土地改良区	7.8	7.4	174	36,000	280	〃			市道			S55～57 ため池整備で改修 防災重点ため池		
的場池	竹内	区長	12	5.5	38	500	100	〃			市道・県道			防災重点ため池		
玉ヶ池	染野	区長	12	6.7	140	18,900	不明	〃		小学校1	市道			防災重点ため池		
勝根池	勝根	区長	12	3.8	228	21,800	300	〃			市道・国道			防災重点ため池		
太田新池	太田	区長	36	9.5	176	11,400	300	〃			市道・県道			H15 国営防災で改修 防災重点ため池		
内池	南藤井	土地改良区	18	4.8	98	11,000	280	堤体・余水吐			市道・県道			防災重点ため池		

10. 防災倉庫

(平成 28 年 4 月 25 日時点)

名称	住所	面積 (㎡)	建築年
新庄庁舎防災倉庫	柿本 169	20.57	H10
第 3 分団屯所東防災倉庫	北花内 580-1	20.57	H10
山麓防災倉庫 (平岡)	平岡 343-1	7.20	H25
山麓防災倉庫 (笛吹)	笛吹 514-1	7.20	H25
新庄小学校防災倉庫	南道穂 187-1	9.28	H24
新庄北小学校防災倉庫	疋田 612	9.60	H28
當麻庁舎西防災倉庫	竹内 256-11	28.38	H10
磐城小学校北防災倉庫	南今市 65-1	41.00	H13
當麻小学校東防災倉庫	當麻 581-1	42.00	H13
忍海小学校防災倉庫	忍海 404	9.60	H26
新庄中学校防災倉庫	新庄 248	9.60	H27

11. 水防資材備蓄状況

袋類	杭	シート	むしろ	縄巻	丸太	板類	鉄棒	釘	かすがい	蛇籠	スコップ	つるはし	とびくち	くわ	かま	なた	のこぎり	かけや	ペンチ	金槌	懐中電灯	
袋	本	枚	枚	m	本	枚	kg	kg	kg	個	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	個
25,000	300	3,200		13	220	20	10	2			33	7	9	17	7	14	22	27	11	8	40	

出典：平成 29 年度奈良県水防計画

1 2. 土砂災害（特別）警戒区域

大字 (町名)	指定区域						基礎調査結果公表(今後指定予定)				
	急傾斜地の崩壊		土石流		地すべり		警戒区域	うち特別	警戒区域	うち特別	合計
	警戒区域	うち特別	警戒区域	うち特別	警戒区域	うち特別					
梅室	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0
太田	0	0	6	0	0	0	6	0	0	0	5
大屋	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
加守	0	0	4	2	0	0	4	2	0	0	2
新在家	3	0	6	1	0	0	9	1	3	0	8
當麻	6	0	13	1	0	0	19	1	5	11	16
竹内	11	11	7	6	0	0	18	17	0	0	0
寺口	8	3	11	3	0	0	19	6	5	5	10
兵家	5	5	6	5	0	0	11	10	0	0	0
平岡	3	3	0	0	0	0	3	3	0	0	0
笛吹	2	2	1	0	0	0	3	2	0	0	0
山口	0	0	2	1	0	0	2	1	0	0	0
合計	39	25	58	19	0	0	97	44	13	28	41

平成 29 年 05 月 31 日現在

13. 土石流危険溪流

水系名	河川名	溪流名	所在地		類型
			字	字	
大和川	葛下川	柿本川	池の側		I
大和川	葛下川	高田川北沢	本郷		I
大和川	葛城川	山口沢	山口		I
大和川	葛城川	兄川	梅室		I
大和川	葛下川	鳥居川B沢	加守		I
大和川	葛下川	鳥居川A沢	丸柏		I
大和川	初田川	二の沢	新在家		I
大和川	初田川	初田川	新在家		I
大和川	熊谷川	當麻寺B沢	當麻		I
大和川	熊谷川	當麻寺A沢	當麻		I
大和川	熊谷川支流	小橋川	當麻		I
大和川	熊谷川支流	小橋川支流	當麻		I
大和川	熊谷川	竹内C沢	竹内		I
大和川	熊谷川	竹内A沢	竹内		I
大和川	熊谷川	浄水場一沢	竹内		I
大和川	熊谷川支流	浄水場二沢	竹内		I
大和川	熊谷川	竹内B沢	竹内		I
大和川	岩谷川	団地の沢A	竹内		I
大和川	葛下川	兵家谷	兵家		I
大和川	葛下川	如意A沢	兵家		I
大和川	葛下川	太田川	伏越		I

水系名	河川名	溪流名	所在地		類型
			字	字	
大和川	兄川	笛吹沢	笛吹		II
大和川	兄川	梅室西沢	梅室		II
大和川	無名川	池の沢	加守		II
大和川	初田川	一の沢	新在家		II
大和川	初田川	三の沢	新在家		II
大和川	熊谷川支流	寺の沢	當麻		II
大和川	熊谷川支流	南の沢	當麻		II
大和川	岩谷川	団地の沢B	竹内		II
大和川	岩谷川	団地の沢C	竹内		II
大和川	岩谷川	団地の沢D	竹内		II
大和川	岩谷川	団地の沢E	竹内		II

I：人家5戸以上の溪流
 II：人家1～4戸の溪流
 III：人家はないが今後新規の住宅立地等が見込まれる溪流

水系名	河川名	所在地		類型
		字	字	
大和川	葛下川	寺口		III
大和川	葛下川	寺口		III
大和川	葛下川	寺口		III
大和川	葛下川	寺口		III
大和川	葛下川	寺口		III
大和川	葛下川	寺口		III
大和川	葛下川	寺口		III
大和川	兄川	山口		III
大和川	葛下川	加守		III
大和川	熊谷川	當麻		III
大和川	熊谷川支流	當麻		III
大和川	熊谷川支流	當麻		III
大和川	熊谷川支流	當麻		III
大和川	熊谷川支流	當麻		III
大和川	熊谷川	竹内		III
大和川	葛下川	兵家		III
大和川	葛下川	兵家		III
大和川	葛下川	兵家		III
大和川	葛下川	兵家		III
大和川	葛下川	兵家		III

平成15年3月28日公表

出典：平成27年度奈良県地域防災計画資料編

1 4. 急傾斜地崩壊危険箇所

箇所名	位置		急傾斜地延長の危険箇所(㎡)	地形要因		類型
	大字	小字		傾斜度(度)	高さ(㎡)	
平岡	平岡		100	40	10	自然Ⅰ
大屋	大屋		120	40	8	自然Ⅰ
寺口	寺口		100	45	8	自然Ⅰ
大谷	新在家	大谷	200	35	20	自然Ⅰ
高峯	竹内	高峯	230	60	40	自然Ⅰ
兵家	兵家		110	35	8	自然Ⅰ
兵家イ	兵家		70	35	7	人工Ⅰ
兵家ロ	兵家		150	35	8	人工Ⅰ

Ⅰ：人家5戸以上の箇所
 Ⅱ：人家1~4戸の箇所
 Ⅲ：人家はないが今後新規の住宅立地等が見込まれる箇所

箇所名	位置		急傾斜地延長の危険箇所(㎡)	地形要因		類型
	大字	小字		傾斜度(度)	高さ(㎡)	
山田	山田		30	45	15	Ⅱ
平岡	平岡		30	50	30	Ⅱ
笛吹	笛吹		30	30	20	Ⅱ
新在家	新在家		20	50	7	Ⅱ
當麻	當麻		20	40	7	Ⅱ
當麻	當麻		20	40	7	Ⅱ
當麻	當麻		30	40	10	Ⅱ
兵家	兵家		20	40	15	Ⅱ
竹内	竹内		30	45	12	Ⅱ
竹内	竹内		20	35	10	Ⅱ
兵家	兵家		25	40	12	Ⅱ

平成 15 年 3 月 28 日公表
 出典：平成 27 年度奈良県地域防災計画資料編

1 5. 山地災害危険地区

大字	位置		面積又は延長	予想される危険
	字	字		
寺口	北大坪谷		600m	崩壊土砂流出
寺口	大坪谷		1,200m	崩壊土砂流出
寺口	岡田谷		400m	崩壊土砂流出
寺口	中尾谷		1,000m	崩壊土砂流出
寺口	光明院谷		400m	崩壊土砂流出
寺口	恩海杉の谷		300m	崩壊土砂流出
寺口	名丸谷		700m	崩壊土砂流出
寺口	水原谷		300m	崩壊土砂流出
寺口	小倉谷		700m	崩壊土砂流出
平岡	太郎字谷		500m	崩壊土砂流出
山口	水呑谷		1,200m	崩壊土砂流出
梅室	北谷		100m	崩壊土砂流出
梅室	オオカミ谷		300m	崩壊土砂流出
梅室	ツクミコ谷		300m	崩壊土砂流出

箇所名	位置		急傾斜地延長の危険箇所(㎡)	地形要因		類型
	大字	小字		傾斜度(度)	高さ(㎡)	
寺口	寺口	大谷	250	35	25	Ⅲ
平岡	平岡	高峯	100	45	20	Ⅲ
平岡	平岡		230	30	15	Ⅲ
寺口	寺口		650	40	30	Ⅲ
平岡	平岡		150	35	20	Ⅲ
平岡	平岡		100	30	10	Ⅲ
新在家	新在家		110	30	20	Ⅲ
竹内	竹内		150	30	10	Ⅲ
竹内	竹内		160	40	30	Ⅲ
竹内	竹内		300	40	35	Ⅲ
新在家	新在家		300	45	20	Ⅲ
竹内	竹内		250	45	40	Ⅲ
竹内	竹内		140	45	30	Ⅲ
竹内	竹内		250	40	30	Ⅲ
竹内	竹内		120	40	30	Ⅲ
竹内	竹内		120	30	20	Ⅲ

大字	位置		面積又は延長	予想される危険
	字	字		
加守	炭焼		600m	崩壊土砂流出
加守	北谷		600m	崩壊土砂流出
梁野	竜がん谷		800m	崩壊土砂流出
當麻	枝ヶ谷		600m	崩壊土砂流出
當麻	枝ヶ谷2		550m	崩壊土砂流出
竹内	地獄谷		1.58ha	崩壊土砂流出
竹内	万方山		1,400m	崩壊土砂流出
竹内	立石		760m	崩壊土砂流出
兵家	孫治谷		600m	崩壊土砂流出
大田	弥宮谷		950m	崩壊土砂流出
大田	堂ヶ谷		400m	崩壊土砂流出
加守	堂ヶ谷		200m	崩壊土砂流出
竹内	ヤナギタニ		1,200m	崩壊土砂流出
竹内	ヤナギタニ		120m	崩壊土砂流出

大字	位置		面積又は延長	予想される危険
	字	字		
加守	炭焼		2ha	山腹崩壊
加守	大木		3ha	山腹崩壊
梁野	大谷口		3ha	山腹崩壊
當麻	西光谷		4ha	山腹崩壊
當麻	丸子		1ha	山腹崩壊
塔ヶ谷			3ha	山腹崩壊
竹内			4ha	山腹崩壊
兵家			7ha	山腹崩壊
兵家			6ha	山腹崩壊
兵家			2ha	山腹崩壊
太田			2ha	山腹崩壊
竹内	万才山		13ha	山腹崩壊
兵家			3ha	山腹崩壊

出典：平成 27 年度奈良県地域防災計画資料編

19. 火薬類製造業者

(平成 27 年 6 月 30 日現在)

業者名	所在地	電話番号	製造	販売
(株) 小山煙火製造所	辨之庄 246-3	0745-69-2355	煙火	煙火

出典：平成 27 年度奈良県地域防災計画資料編

20. 消防自動車・施設及び消防団員数

令和 2 年 4 月 1 日現在

消防ポンプ自動車	消防自動車等				消防水利			消防団		
	水槽付消防ポンプ自動車	救助工作車	救急自動車	指揮車	その他	消火栓	防火水槽	池・川等	分団	消防団員
1	1	1	2	1	6	1,202	151	29	6	127

21. ヘリコプター活動計画資料

奈良県内飛行場外離着陸場（県防災ヘリコプター）

平成 29 年 6 月 19 日現在

名称	所在地	北緯	東経	長さ(m)×幅(m)
新庄第一健民運動場	新町 292-3	34° 28' 52"	135° 44' 30"	20×20
農村広場	當麻 244-1	34° 30' 41"	135° 42' 22"	20×20

2.2. 応援給水用機械器具等の保有状況

(上水道事業・水道用水供給事業) 平成 29 年 8 月現在

防災関係物資の保有数量					
車両			給水容器		機材
(ポンプ付)	給水車		給水タンク	ポリ容器	鉄管切断機
	トラック				
	(軽ダンプ)				発電機
	トラック				
	(軽貨物)				
2t	1t	350kg			
1	2	1	3	30	2
		1			1

2.3. 医療品卸売業者

名称	支店名	所在地	TEL	FAX
アルフレッサ (株)	奈良支店	奈良市東九条町 178-1	0742-61-5511	0742-63-2330
アルフレッサ (株)	奈良南支店	葛城市北花内 260	0745-69-5771	0745-69-7555
(株) 神田大薬局		天理市樺本町 2400	0743-65-0393	0743-65-2238
東邦薬品 (株)	奈良営業所	奈良市池田町 210-4	0742-61-2600	0742-61-6717
東邦薬品 (株)	奈良南営業所	橿原市忌部町 194-1	0744-21-6777	0744-21-6780
(株) メディセオ	奈良支店	奈良市三条桜町 27-2	0742-34-3884	0742-35-2381
(株) メディセオ	奈良南支店	橿原市醍醐町 272-1	0744-21-0871	0744-21-0889
(株) ケーエスケー	奈良支店	天理市別所町 324-3	0743-63-4121	0743-63-4120
(株) ケーエスケー	奈良南支店	橿原市法花寺町 48-1	0744-20-2533	0744-20-2534
(株) スズケン	奈良支店	奈良市北之庄西町 2-10-6	0742-62-3041	0742-61-0691
(株) スズケン	大和高田支店	大和高田市市場 613-1	0745-22-1152	0745-23-2290
(株) 森田草堂		橿原市八木町 1-6-1	0744-22-3421	0744-22-3960

(奈良県薬剤師会 御勤務薬剤師部会 2017 年 4 月)

24. 国指定重要文化財建造物設置防災施設

○：設置済

名称	棟数	自火報	貯水槽	池	消火栓	放水銃	ドレンチ	動力ポンプ	避雷針	備考
博西神社	2	○			○					
村井家住宅	3				○					
當麻寺	6	○	○	○	○	○			○	
中之坊	1	○	○	○	○	○			○	貯水槽を當麻寺と共有
當麻奥院	3	○	○	○	○	○			○	貯水槽を當麻寺と共有
五輪塔(当麻)	1									石塔

25. 災害時応援協定団体・緊急物資供給協力企業等

	協定締結相手	協定年月日	担当部署	電話番号	協力内容
公的機関関係	1 近畿地方整備局 (災害時等の応援に関する申し合わせ)	平成24年 6月22日	奈良市大宮町3丁目5番11号 国土交通省近畿地方整備局 奈良国道事務所 管理第2課	維持係長 TEL: 0742-33-1391 FAX: 0742-36-3765	1. 情報の収集・提供 (リエゾン[情報連絡員]含む) 2. 職員の派遣 (緊急災害対策派遣隊を含む) 3. 災害に係る専門家の派遣 4. 車両、災害対策用機械等の貸付 5. 通信機械等の貸付及び操作員の派遣 6. 通行規制等の措置 7. その他必要な事項
	2 災害時における奈良県市町村相互応援に関する協定書 (奈良県-市長会-町村長会 間の協定)	平成27年 2月20日	奈良県登大路町30番地 奈良県総務部知事室 防災統括室	TEL: 0742-27-8425 FAX: 0742-23-9244	応急対策及び復旧対策に必要な職員の派遣 被災者の避難のための施設の提供及び斡旋 食料、飲料水及び生活必需品並びにその供給に必要な資機材の提供及び斡旋

	協定締結相手	協定年月日	担当部署	電話番号	協力内容
3	広陵町、三宅町、大和ハウス工業株式会社、公益社団法人日本建築家協会 近畿支部奈良地域会	令和元年 9月3日	奈良市西大寺国見町1丁目4番1-1号 大和ハウス工業(株)奈良支社 奈良市大宮町2丁目5番7号 公益社団法人日本建築家協会 近畿支部奈良地域会	TEL: 0742-52-2581 FAX: 0742-45-6644 TEL: 0742-33-3131 FAX: 0742-33-3131	快適で魅力的な災害に強い住環境等の創出、並びに被災地の住宅応急対策に関し連携協力して技術開発及び普及活動に係る情報共有をはかる
1	奈良県農業協同組合	平成21年 3月5日	奈良市大森町57番地の3 奈良県農業協同組合 総務部	(新庄中央支店) TEL: 69-2251 (本店 総務部) TEL: 0742-27-4601	米等の食料、飲料水
2	NPO法人コメリ災害対策センター	平成22年 3月18日	新潟市南区清水4501番地1 NPO法人 コメリ災害対策センター	TEL: 025-371-4185 FAX: 025-371-4151	作業関係、日用品関係、水関係、冷暖房機器等、電気用品等、トイレ関係等
3	ダイドードリンコ株式会社	平成22年 7月21日	大阪市平野区 長吉長原東3丁目-1-55 西日本営業部 葛城市新町22番地 新庄営業所	TEL: 06-6709-6101 FAX: 06-6709-6215 TEL: 62-6301 FAX: 62-6303	飲料水 (災害ペンダ自動販売機)
4	市民生活協同組合ならこグループ	平成24年 9月18日	奈良市恋の窪一丁目2番2号 物流センター	TEL: 0742-34-8731 FAX: 0742-34-8730 衛星電話: 8816-234-12503	1 食器類(紙コップ・割り箸・スプーン等) 2 雑貨類(ティッシュ・トイレットペーパー・タオル・ゴミ袋・懐中電灯・乾電池・ローソク・軍手等) 3 その他(文具類・使い捨てカイロ)
5	5日で5000枚の約束。プロジェクト実行委員会	平成29年 4月4日	葛城市担当: 大和高田市根成柿566-2 インテリア平郡	TEL: 0745-52-5249 FAX: 0745-52-6839	避難所等への量の提供

物資協力関係

	協定締結相手	協定年月日	担当部署	電話番号	協力内容
6	株式会社 高木包装	令和2年7月6日	葛城市董 74 番地 2	TEL : 0745-65-1133 FAX : 0745-63-1111	段ボール製簡易ベッド 段ボール製シート 段ボール製仕切り 段ボール製簡易テント 等の物資の供給、運搬
1	葛城市建設業協会	平成21年3月26日	葛城市長尾 番地 株式会社 北田組	TEL : 69-6008	建築資機材、資材 (29 業者)
2	奈良県電気工事工業組合	平成23年2月28日	奈良市三条松町 29 番地 3 号 奈良県電気工事工業組合	TEL : 0742-33-4340 FAX : 0742-34-8651 会社 TEL : 0745-32-0035	電気設備の応急復旧
3	学校法人 奈良学園	平成24年2月29日	大和高田市東中 127 番地 奈良文化女子高等学校	TEL : 080-5343-5778 警備 TEL : 080-6153-4447	災害発生時の広域避難所 (奈良文化高等学校リズム館)
4	社会福祉法人 特別養護老人ホーム当麻園	平成25年12月14日	葛城市南今市 372 番地	0745-48-4418	災害発生時における福祉避難所
5	社会福祉法人晴幸福社会 特別養護老人ホーム ウォームヴィラ新庄園	平成25年12月14日	葛城市平岡 528 番地	0745-63-1150	災害発生時における福祉避難所
6	社会福祉法人 椋の郷	平成25年12月14日	葛城市寺口 1686 番地 1	0745-69-9601	災害発生時における福祉避難所
7	医療法人博愛会 介護老人保健施設 かつらぎ	平成25年12月14日	葛城市林堂 360 番地 1	0745-69-1800	災害発生時における福祉避難所
8	医療法人誠安会 介護老人保健施設 ぬくもり葛城	平成29年10月17日	葛城市西室 150 番地 3	0745-69-8100	災害発生時における福祉避難所

緊急対応関係

	協定締結相手	協定年月日	担当部署	電話番号	協力内容
9	日本郵便株式会社 高田郵便局・香芝郵便局 1. 大和高田郵便局 2. 香芝郵便局 3. 新庄郵便局 4. 忍海郵便局 5. 長尾郵便局 6. 新庄疋田郵便局	平成 26 年 3 月 10 日	1. 大和高田市神楽 2 丁目 7 番 46 号 2. 香芝市下田西 2 丁目 2 番 10 号 3. 葛城市北花内 734 番地 3 4. 葛城市忍海 262 番地 6 5. 葛城市長尾 388 番地 1 6. 葛城市疋田 140 番地 10	大和高田郵便局 総務部長 TEL : 0745-52-3402 FAX : 0745-52-7105	災害、道路構造物の破損等に因る事故から市民の生命、身体、財産を守るための情報提供
10	公益社団法人 日本建築家協会	平成 27 年 7 月 8 日	東京都渋谷区神宮前 2 丁目 3 番 18 号	公益社団法人 日本建築家協会	被災建築物の建築相談に関する事 被災建築物の被災認定調査の技術的支援に関する事 防災・減災支援活動に関する事
11	株式会社 アンズコーポレーション	平成 27 年 10 月 7 日	大阪市中央区谷町 9 丁目 3 番 7 号	株式会社 アンズコーポレーション 奈良工場 TEL : 0745-64-0210 FAX : 0745-64-0216	アンズコーポレーション奈良工場の避難所の設置 (葛城市 藪 27 番地 1)
12	葛城市一般廃棄物収集運搬処理事業協同組合	平成 27 年 12 月 25 日	葛城市 中戸 327 番 1	栄伸開発株式会社 TEL : 0745-63-2455	異常な自然現象や大規模な災害が発生した際に市内で発生した一般廃棄物について収集・運搬等実施する
13	ヤフー株式会社	平成 28 年 10 月 18 日	東京都千代田区紀尾井町 1 番 3 号 公共サービス事業本部地方創生支援室	03-6898-5312	災害時に緊急情報や防災情報などの災害に関する情報をヤフーサービス上に掲載し、一般に広く周知する

26. 避難場所

(1) 指定緊急避難場所（旧一時避難所）

番号	避難所名	所在地	管理責任者	TEL	収容可能人数 (人)	利用対象者	災害区分		
							地震	洪水	土砂災害
1	新庄コミュニティセンター	南道穂 147-5	大字区長	69-7907	80	各大字の避難住民	○	○	○
2	新庄屋敷町コミュニティセンター	新庄 500-3	大字区長	69-9688	50		○	○	○
3	葛木コミュニティセンター	葛木 93-3	大字区長		30		○	○	○
4	南藤井コミュニティセンター	南藤井 111	大字区長		100		○	○	○
5	大屋コミュニティセンター	大屋 238	大字区長		50		○	○	×
6	大屋北コミュニティセンター	南道穂 234-11	大字区長		40		○	○	○
7	寺口ふれあい集会所	寺口 427-1	大字区長	69-9596	60		○	○	×
8	公民館中戸分館	中戸 180-4	大字区長	69-4567	90		○	○	○
9	公民館弁之庄分館	辨之庄 313-2	大字区長	69-4253	50		×	○	○
10	公民館疋田分館	疋田 400-1	大字区長	69-2469	180		×	○	○
11	疋田東和苑コミュニティセンター	疋田 104-3	大字区長		70		○	○	○
12	疋田フルールコミュニティセンター	疋田 243-4	大字区長		50		○	○	○
13	北道穂コミュニティセンター	北道穂 100	大字区長	69-7373	50		○	○	○
14	南道穂コミュニティセンター	南道穂 86-4	大字区長	69-9678	100		○	○	○
15	西室コミュニティセンター	西室 95-3	大字区長		60		○	×	○
16	東室コミュニティセンター	東室 262-2	大字区長	69-9302	40		○	△2階以上	○
17	公民館柿本分館	柿本 145	大字区長	69-7993	30		×	○	○
18	柿本人麻呂コミュニティセンター	柿本 161	大字区長		70		○	×	○
19	笛堂コミュニティセンター	笛堂 240-1	大字区長	69-7909	150		○	△2階以上	○
20	北花内コミュニティセンター	北花内 51	大字区長	69-3611	180		○	○	○
21	公民館三才分館	北花内 771-1	大字区長	69-7541	50		○	△2階以上	○
22	北花内 JR 地区コミュニティセンター	北花内 502-8	大字区長	69-7660	100		○	○	○
23	公民館北花内近鉄駅前分館	北花内 570-1	大字区長	69-7911	40		×	○	○
24	忍海集会所	忍海 262-5	大字区長	63-1431	110		×	○	○
25	忍海老人憩いの家	忍海 475-2	大字区長		40		○	○	○

番号	避難所名	所在地	管理責任者	TEL	収容可能人数 (人)	利用対象者	災害区分		
							地震	洪水	土砂災害
26	公民館京阪忍海分館	忍海 437-65	大字区長		30	各 大 字 の 避 難 住 民	○	○	○
27	薑コミュニティセンター	薑 225	大字区長		120		○	×	○
28	公民館新村分館	新村 345-3	大字区長	62-8716	80		○	×	○
29	公民館新町分館	新町 163-1	大字区長		40		○	○	○
30	南花内コミュニティセンター	南花内 129-2	大字区長	69-7534	80		○	○	○
31	西辻コミュニティセンター	西辻 195-1	大字区長	65-2676	100		○	○	○
32	林堂本郷公民館	林堂 283-2	大字区長		110		○	○	○
33	公民館林堂東分館	林堂 74-2	大字区長		30		×	○	○
34	公民館林堂南分館	林堂 229-10	大字区長		40		○	○	○
35	山田集会所	山田 111-1	大字区長	69-9553	40		○	○	○
36	公民館平岡分館	平岡 65-1	大字区長		50		○	○	○
37	山口コミュニティセンター	山口 180	大字区長		40		○	○	○
38	梅室コミュニティセンター	梅室 234-2	大字区長		30		○	○	×
39	笛吹集会所	笛吹 258-1	大字区長	69-7696	40		○	○	×
40	公民館脇田分館	脇田 171-1	大字区長	62-0706	40		×	○	○
41	公民館南新町分館	忍海 228-1	大字区長		30		○	○	○
42	公民館南新町わかき台分館	忍海 99-7	大字区長		20		○	○	○
43	公民館南今市分館	南今市 5-1	大字区長	48-6166	40		○	○	○
44	太田集落センター	太田 201-5	大字区長		40		○	○	×
45	公民館兵家分館	兵家 737	大字区長	48-6169	30		×	○	○
46	兵家老人憩の家	兵家 1465-1	大字区長	48-5986	30		○	○	×
47	竹内集落センター	竹内 389-1	大字区長	48-4245	40		×	○	○
48	磐城地区公民館	長尾 472-1	大字区長	48-6060	60		×	○	○
49	木戸集落センター	木戸 151-3	大字区長	48-6172	30		○	×	○
50	公民館尺土分館	尺土 213-12	大字区長	48-5963	50		○	△2階以上	○
51	公民館八川分館	八川 280-6	大字区長	48-5962	40		○	○	○
52	大畑集落センター	大畑 108-1	大字区長	48-6022	40		○	○	○

番号	避難所名	所在地	管理責任者	TEL	収容可能人数 (人)	利用対象者	災害区分		
							地震	洪水	
53	當麻地区公民館	當麻 1239	大字区長	48-5666	70	各大字の避難住民	×	○	
54	當麻集会場	當麻 83-1	大字区長	48-4611	140		○	○	
55	公民館當麻分館	當麻大橋方 189	大字区長		30		×	○	
56	公民館勝根分館	勝根 218	大字区長	48-7544	40		○	○	
57	公民館今在家分館	今在家 176	大字区長	48-5995	40		○	○	
58	公民館染野分館	染野 321-1	大字区長	48-7990	30		×	○	
59	公民館新在家分館	新在家 159	大字区長	48-7522	40		×	○	
60	公民館加守分館	加守 585	大字区長	76-4946	30		×	○	
合計							○の施設数	45	51

(注) 「指定緊急避難場所(旧一時避難所)」は、切迫した災害の危険から逃れるための場所又は施設であり、避難者が一時的に集合して様子を見る又は

集団を形成する場所である。災害の状況等必要に応じて、指定緊急避難場所(旧広域避難地)や指定避難所へ移動する。

[災害区分の記号] 各災害時の施設の使用可否を表す。○：使用可 △：部分的に使用可 ×：使用不可

(2) 指定緊急避難場所(旧広域避難地)

番号	避難所名	所在地	管理責任者	TEL	収容可能人数 (人)	利用対象者	備考	災害区分	
								地震	洪水
61	新庄第2健民運動場	南藤井 25	教育委員会	69-5131	1,220	最寄の避難住民	運動場面積 4,037 m ²	○	○
62	屋敷山公園	南藤井 17	教育委員会	69-5131	6,910		公園面積 57,000 m ²	○	○
63	新町公園球技場	笹堂 376	教育委員会	69-6961	3,240		公園面積 10,700 m ²	○	×
64	當麻健民運動場	當麻 1018-1	教育委員会	48-6600	3,030		運動場面積 10,000 m ²	○	○
合計						○の施設数	14,400	4	3

(注) 「指定緊急避難場所(旧広域避難地)」は、大規模な災害時に市街地火災や建物倒壊等から避難者の生命を保護するための避難場所であり、指定緊急避難

場所(旧一時避難所)を補完するものである。

[災害区分の記号] 各災害時の施設の使用可否を表す。○：使用可 △：部分的に使用可 ×：使用不可

平成31年3月に奈良県が指定した洪水浸水想定区域により変更を行う。

(3) 指定避難所

番号	避難所名	所在地	管理責任者	TEL	収容可能人数 (人)	利用対象者	備考
65	新庄小学校体育館	南道穂 176-1	教育委員会	69-2132	640	南道穂、西室(一部)、柿本、北花内(一部)、辨之庄(一部)、北道穂(一部)、新庄(一部)	室内運動場面積 1,049 m ² 運動場面積 6,012 m ²
66	忍海小学校体育館	忍海 338-1	教育委員会	62-2467	590	忍海、薑、西辻、脇田、南新町、梅室	室内運動場面積 979 m ² 運動場面積 11,100 m ²
67	新庄北小学校体育館	疋田 612	教育委員会	69-6121	310	疋田、西室(一部)、北道穂(一部)	室内運動場面積 509 m ² 運動場面積 8,419 m ²
68	新庄中学校体育館	新庄 248	教育委員会	69-3301	910	新庄(一部)、葛木(一部)、辨之庄(一部)	室内運動場面積 1,500 m ² 運動場面積 10,168 m ²
69	磐城小学校体育館	南今市 61	教育委員会	48-2041	660	南今市、八川、大畑、太田、兵家(一部)、長尾(一部)	室内運動場面積 1,084 m ² 運動場面積 7,926 m ²
70	當麻小学校体育館	染野 32	教育委員会	48-2059	520	今在家(一部)、染野、新在家(一部)、加守(一部)	室内運動場面積 863 m ² 運動場面積 7,583 m ²
71	白鳳中学校体育館	長尾 14-1	教育委員会	48-2054	830	長尾(一部)、尺土、今在家(一部)、木戸、勝根、當麻(一部)	室内運動場面積 1,365 m ² 運動場面積 9,659 m ²
72	葛城市民体育館	南藤井 17	教育委員会	69-5131	1,180	南藤井(一部)、大屋(一部)、寺口(一部)、中戸(一部)、山田(一部)、平岡(一部)、山口(一部)、笛吹(一部)、新庄(一部)、葛木(一部)	総床面積 1,946 m ²
73	新庄スポーツセンター	笛堂 271	教育委員会	69-6781	640	笛堂(一部)、北花内(一部)	室内運動場面積 1,055 m ²
74	當麻スポーツセンター	竹内 689	教育委員会	48-6600	970	兵家(一部)、竹内	総床面積 1,594 m ²
75	いきいきセンター	林堂 123	市	69-6761	950	南花内、林堂	総床面積 1,571 m ²
76	コミュニティセンター	新町 337	教育委員会	69-6961	730	新村、新町、笛堂(一部)、北花内(一部)	総床面積 1,212 m ²

77	ゆうあいステーション	染野 789-1	葛城市社会福祉協議会	48-3373	1,520	當麻(一部)、新在家(一部)、加守(一部)	総床面積 6,294 m ²
78	奈良文化高等学校リズム館 ※	大和高田市東中 127	奈良文化高等学校	22-8315	370	東室	リズム館床面積 613 m ²
79	葛城市中央公民館	南藤井 17	教育委員会	69-5131	220	南藤井(一部)、大屋(一部)、寺口(一部)、中戸(一部)、山田(一部)、平岡(一部)、山口(一部)、笛吹(一部)、新庄(一部)、葛木(一部)	総床面積 368 m ²
合計					11,040		

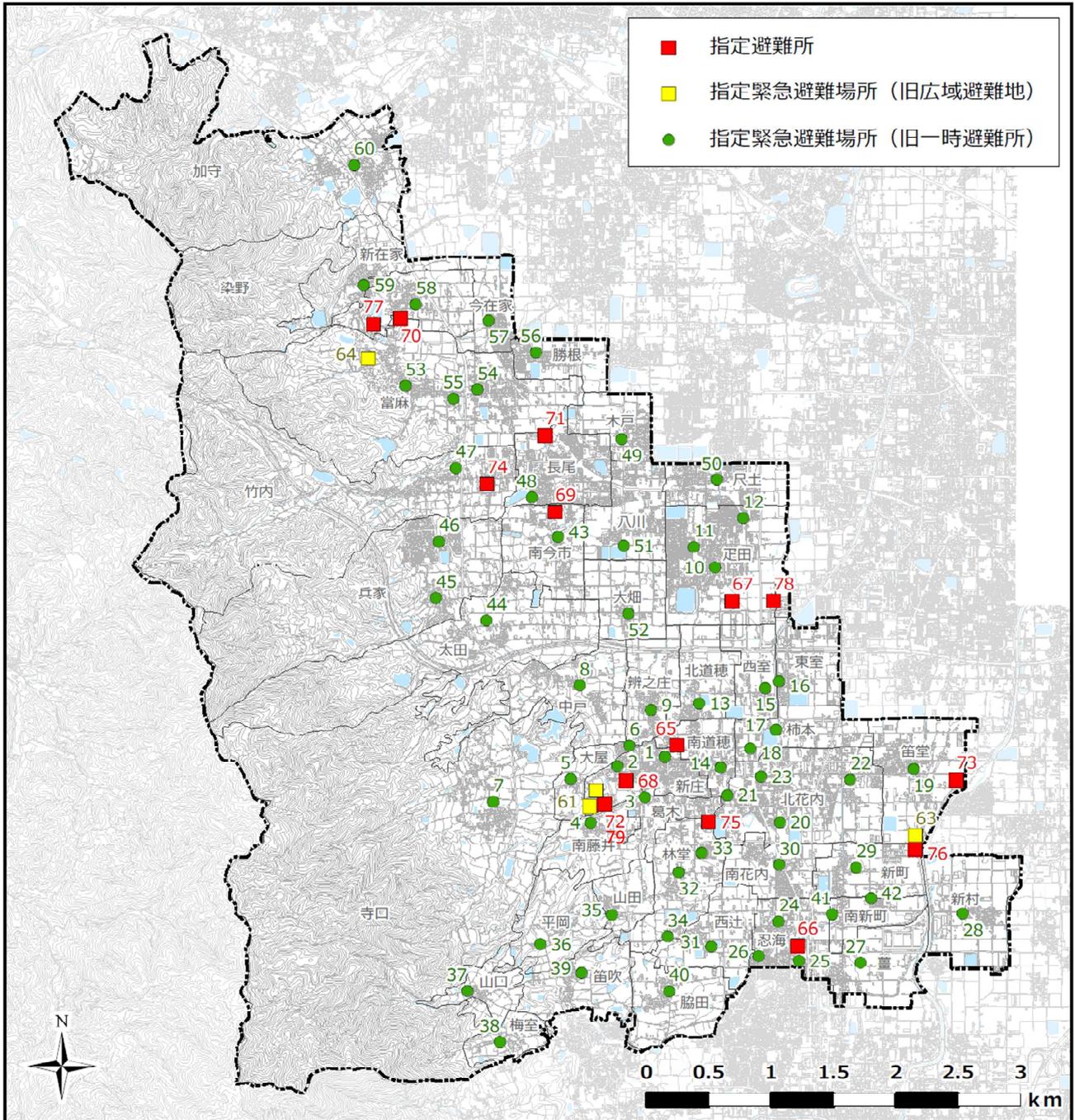
(注) 「指定避難所」は、家屋の倒壊などにより一定期間滞在して避難生活をおくる場所である。

(※) 奈良文化高等学校リズム館の避難所としての利用は協定によるものであり、利用時には事前には事前に奈良文化高等学校へ連絡する必要がある。

(※) 「利用対象者」欄の(一部)表記は、複数の指定避難所を指定しているものであります。

(※) 必ず該当する指定避難所のみ、避難するものではありません。

避難所・避難場所位置図



27. 福祉避難所

(1) 地区福祉避難所

第1次の要援護者のための避難所として、一般の避難所（各小学校）に隣接した公立の幼稚園を地区福祉避難所として位置づける。

	施設名	所在地	連絡先
1	新庄小学校附属幼稚園	南道穂 145 番地 1	69-5500
2	忍海小学校附属幼稚園	忍海 338 番地 1	62-1763
3	新庄北小学校附属幼稚園	疋田 612 番地	69-6122
4	磐城小学校附属幼稚園	南今市 50 番地 1	48-3633
5	當麻小学校附属幼稚園	當麻 583 番地 1	48-3533

(2) 指定福祉避難所

より重度の介護を要する場合や、障がいの程度が重く、地区福祉避難所では生活が困難な要援護者を民間の福祉避難所へ移送するにあたり、暫定的に要援護者の受入れを行うため、公設民営のデイサービス事業所を指定福祉避難所として位置づける。

	施設名	所在地	連絡先
1	葛城市福祉総合ステーション (ゆうあいステーション)	染野 789 番地 1	48-3373

(3) 民間福祉避難所

より重度の介護を要する場合や、障がいの程度が重く、地区福祉避難所では生活が困難な要援護者が安心して避難生活を送れるよう、施設・設備のバリアフリー化や専門スタッフが確保されている民間の福祉施設及びデイサービス事業所等を民間福祉避難所として位置づける。

	施設名	所在地	連絡先
1	社会福祉法人 特別養護老人ホーム当麻園	南今市 372 番地	48-4418
2	社会福祉法人 晴幸福社会 特別養護老人ホーム ウォームヴィラ新庄園	平岡 528 番地	63-1150
3	社会福祉法人 柗の郷	寺口 1686 番地 1	69-9601
4	医療法人博愛会 介護老人保健施設かつらぎ	林堂 360 番地 1	69-1800
5	医療法人 誠安会 介護老人保健施設ぬくもり葛城	西室 150 番地 8	69-8100

28. 浸水想定区域内にある要配慮者利用施設

種別	施設名	所在地	電話	FAX	対象河川	想定浸水深
医療機関	南平整形外科	尺土 9-10	0745-48-5028		葛下川	0.5m 未満
	ますだ診療所	八川 113-1	0745-48-0023		葛下川	0.5m 未満
	整形外科 こうクリニック	八川 114-1	0745-44-8661		葛下川	0.5m 未満
	しばたこども クリニック	八川 114-3	0745-43-5222		葛下川	0.5m 未満
	みわ歯科医院	八川 152-7	0745-48-0008		葛下川	0.5m 未満
	山本医院	八川 153-1	0745-48-1231	0745-48-1232	葛下川	0.5m 未満
福祉施設	磐城第2保育所	八川 70-2	0745-48-4998	0745-48-4997	葛下川	0.5m 未満

※GISにより葛下川、葛城川、高田川の浸水想定区域と要配慮者利用施設（社会福祉施設、学校、医療施設）を重ね合わせることで該当する施設を抽出した。

施設データ出典：国土数値情報 医療機関データ（H26）国土交通省、要配慮者利用施設一覧表（H29）奈良県

29. 土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設

種別	施設名	所在地	電話	FAX	土砂災害の種類
福祉施設	葛城苑・柊の郷ワークセンター	寺口 1689-1	0745-69-9601	0745-69-8869	急傾斜
	HOLLY VILLAGE	中戸 609-1	0745-69-9601	0745-69-8869	急傾斜
	特別養護老人ホーム ウォームヴィラ新庄園	平岡 528	0745-63-1151		土石流
	デイサービスセンター笛吹	笛吹 546-1	0745-43-5076	0745-43-8076	土石流
	ぽどま	太田 870	0745-48-9033	0745-48-9032	土石流
	憩い空間とも デイサービスセンター	兵家 1450-1	0745-60-4650	0745-60-4650	土石流
	磐城第1保育所	兵家 71	0745-48-2619	0745-48-2619	土石流
	Coco-Make 葛城	當麻 901-1	0745-44-8922	0745-44-8933	土石流
	悠久の里	新在家 393-3	0745-48-0132		土石流
	就労支援事業所バンビ	加守 582 細川ハイツ A 棟 102 B 棟 101・102	0745-44-8484	0745-44-8883	土石流

※GISにより土砂災害警戒区域と要配慮者利用施設（社会福祉施設、学校、医療施設）を重ね合わせることで該当する施設を抽出した。

施設データ出典：国土数値情報 医療機関データ（H26）国土交通省、要配慮者利用施設一覧表（H29）奈良県